

留萌ロータリークラブ 会報

2006▶2007
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



率先しよう

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

留萌ロータリークラブ会長テーマ
魅力ある明るく楽しいクラブは、
ロータリーを知り、
会員家族との親睦から

No. 2267 第28回 2月7日

プログラム

- 本日
会員卓話 宮井清隆会員
- 次週予定
会員卓話 道 重幸会員
「夕張市財政と留萌市」

会員誕生日
2月7日 高田 潔
2月10日 松村 孝二

ご夫人誕生日
2月11日 笠原 弘子
2月13日 高田美保子

出席委員会報告

前例会
会員総数.....51名
出免会員.....7名
欠席会員.....10名
出席率.....77.30%

前々回
第25回 1月17日
欠席会員.....10名
メイクアップ.....2名
修正出席率.....81.40%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

- ロータリー財団より斎藤会員さんに1回目のマルチプル・ポールハリス・フェローのサファイア入りのバッジが届いておりますのでお渡しいたします。
- 遠藤会員さんにポールハリス・フェローとして認証されましたので、記念となる証書とメダルを贈呈致します。

- 3) 芦別、赤平RCより2月例会予定を受領しました。
- 4) 2008~09年度ロータリー財団国際親善奨学生の募集要項が届いております。回覧いたします。

会報受領先

・芦別RC 2386号 ~ 2388号

幹事報告

- 1) 毎年寄贈させていただいております「抜粋のつづり」その66号を受領。皆さんに配布いたします。
- 2) 明日2月1日は第8回定例理事会です。理事・役員の方はお忘れなく。

委員会報告

会報委員会 田中委員長

会報委員会では、今週と来週にネームプレートのところにバック・ナンバーを展示いたします。ご自由にお持ち帰りください。なお、留萌RCのホームページからも印刷出来ます。お分かりにならない方は当委員会までお問い合わせ下さい。



3分間情報

情報委員会

行徳副委員長

「著名人ロータリアン」1

《アメリカ大統領》

ウィルソン / ハーディング / フーバー / フランクリン・ルーズベルト / トルーマン / アイゼンハワー / ケネディ / ニクソン / フォード / カーター / レーガン /

父ブッシュ (ヒューストンRC)

子ブッシュ (ワシントンRC)

《その他》

トーマス・マン

チャーチル (ロンドンRC)

エジソン (オレンジRC)

レーニエ大公 (モナコRC)

サッチャー元英国首相

(ウエストミンスター東RC)

N. アームストロング (ワポコネタRC)

松下幸之助 (大阪RC)

千 玄室 (京都RC)

アメリカのエジソンが電灯の発明者

- 1809年イギリスのデービーによるアーク灯
- 1850年イギリスの Swan による、紙を炭化したフィラメントを用いた電球を製作 (白熱灯)

• 明治11年にエジソンは木綿紙を炭化したフィラメントによる電球を製作、明治12年に画期的な炭化フィラメントの白熱電球を完成し、実用化

(1) 日本における電灯の始まり

- 明治11年 3月25日電信中央局祝宴会でアーク灯を点灯
- 明治17年 6月国鉄上野～高崎間開通式で白熱灯を点灯

(2) 北海道における電灯の始まり

- 明治23年 7月北海道製麻札幌工場内

II. 北海道における電気事業の変遷

1. 電気事業の始まり

- 明治20年 1月東京電燈として開業

* 営業開始後の最初の供給箇所

鹿鳴館、首相官邸の仮装舞踏会、団十郎の天覧演技

- 明治24年10月31日札幌電燈舎として開業

- 札幌以外での開業時期

小樽 明治28年 1月

函館 明治29年 1月

留萌 明治44年 5月

2. 電気事業者の増加と自由競争

(1) 大正中期の主な勢力

- 札幌水力電気株式会社 (札幌地区)
- 帝国電燈株式会社北海道支社 (小樽地区)
- 函館水電株式会社 (函館地区)
- 富士電気株式会社 (旭川地区)
- 北海道炭鉱汽船株式会社 (室蘭地区)
- 北海道電気株式会社

(釧路 / 北見を中心とした道東)

- 王子製紙株式会社

(苫小牧、江別、岩見沢地区)

(2) 2大勢力の対峙

- 北海水力電気 (王子製紙系)
- 北海道電燈 (富士電気系)

3. 電力の国家管理



ニコニコBOX

- ポールハリスフェローの記念品を頂きました
遠藤会員
- 今年初めての麻雀大会でついに優勝しました
河部会員
- 麻雀大会準優勝
大嶋会員
- 麻雀大会 1位
佐藤(寛)会員
- 母の葬儀には大変お世話になりました

中川会長

前回 737,000円

今回 56,000円

累計 793,000円



プログラム

会員卓話

平間会員

「北海道における電力自由化の現況について」

I. 電気の始まり

1. 電灯の始まり

昭和11年廣田内閣時に「電力は国民生活に不可欠なものであり、さらには国防上の見地から国家の管理下で全体主義に基づく経営を行うことによつてのみ、合理的な電源開発と豊富かつ低廉な電力の供給が可能」と国家管理案を提出

(1) 日本発送電株式会社

全国の民間・公益事業者33社から主要火力発電所・変電所・水力発電所を出資の全国1社体制

(2) 全国を9配電会社へ

全国の400社余りの電気事業者から配電設備を受け継ぐ

* 国家管理下での電力経営による成果

周波数の統一、電気料金の統一、低廉価：○
(電源開発の成果×)

4. 電気事業の再編成

(1) 電気事業の主な再編成案

発送配電を一元化する全国一社案(日本発送電)

私企業体制による地域別会社案(9配電会社)

公社化案(電産)

配電都道府県営業(期成同盟会)etc

(2) 新たな電気事業のスタート

昭和26年5月1日、民有民営・独立採算制

9電力体制(のちに沖縄電力が加入10体制)

Ⅲ. 電力自由化のあしどり

1. 平成7年電気事業法改正

(1) 卸発電市場の活性化

電力会社に電力を供給する事業に卸供給事業者の参入が可能になった。また、電力会社の送電線を使って他の伝直会社に送電する卸託送の規制が緩和された。

2. 平成11年電気事業法改正

平成9年5月「経済構造の変革と創造のための行動計画」が閣議決定され、平成11年1月に電気事業審議会の報告書で電力供給システムの見直しに当っては、効率化と公益性課題の両立を前提として、平成12年3月から小売の部分自由化が始まった。

[効率化と公益的課題の両立]

効率化(電気料金の低廉価要請)市場原理の

導入による、電力会社により一層のコストダウンを推進。

公益的課題(電力会社に課せられた課題)

ユニバーサルサービスの達成

供給信頼度の維持

エネルギーセキュリティ確保・環境保全

(1) 小売への部分自由化の導入

特別高圧(2万V以上)で受電し、使用規模2000kW以上のお客様

(2) 特定規模電気事業者の創設

電力会社のネットワークを利用し、自由化対象のお客様に電気を供給する「特定規模電気事業者」の新規参入が可能

(3) 送電ネットワーク利用の条件整備

電力会社が保有する送電ネットワークを新規参入者が利用するための、公平公正なルール(小売託送ルール)の整備

3. 平成15年電気事業法の改正

平成15年2月18日「今後の望ましい電気事業制度の骨格について」の報告書が纏められ、平成15年6月18日改正電気事業法が公布。

(1) 発送電一貫体制の堅持

電気の特性から発電設備と送電設備の一体的な整備・運用を維持し、電気の安定供給を図る。

(2) 送配電部門の公平性・透明性の向上

行為規制の導入

中立機関の設置

(3) 全国規模での電力流通の活性化

卸電力取引所の創設

託送制度の見直し

(4) 電力自由化の段階的な拡大

- 平成16年4月

高圧受電のお客様のうち500kW以上を自由化

- 平成17年4月

全ての高圧受電のお客様を自由化

- 平成19年4月以降目途

前面自由化に関する具体的な検討を開始

4. 電力自由化のポイント

(1) 自由化対象のお客様は、電力供給者を自由に選ぶことができる。

お客様は地域の電力会社から電気を購入

するほか、他の電力供給者から電気を購入する事が出来る。

ただし、いずれの電力供給者とも交渉が成立しないお客様に対しては、地域の電力会社が供給する。



2. 北海道では、昨年10月に P P S 最大手のエネットが北ガスや N T T グループの道内オフィスビルなど7ヶ所(約1500kW) 本年1月には官公庁14ヶ所(840kW)に電力の小売を開始。
3. 昨年、油価格の高騰によりオンサイト発電事業の縮小が相次ぎ、エネサーブ(株式会社)の主力事業であった発電事業から撤退し、自家発から売電への切り替えが増加。

(2) 電力会社の送電線ネットワークを利用拡大する。

電力会社の送電線ネットワークは、どの電力供給者も同じ条件で利用できる。送電ネットワーク全体の安定性・健全性を維持するため、「託送料金」の算定方法、「同時同量」の原則などネットワーク利用に関する公平なルールが整備。

IV. 電力自由化の進捗状況

1. 全国的には大都市を中心として、既に300万kWを超える電力会社以外の電力供給者から供給がある。

V. 今後の動き

1. 平成19年4月からは、需要家の選択肢の確保状況なども踏まえ、下記の項目など経済産業省において学識経験者も交え前面自由化への検討がすすめられる。

供給信頼度の確保

エネルギーセキュリティや環境保全等の課題との両立

最終保障、ユニバーサルサービスの確保
実務的課題など

ご清聴ありがとうございました。

国際ロータリー第2510地区「第1グループ研修・交流会」

研修・交流会テーマ「交流と親睦」

■日時 平成19年5月13日(日)点鐘 14:30 ■会場 留萌産業会館

《実行委員会》	ガバナー補佐	澤田 茂	副実行委員長	河部 勲
	クラブ会長	中川 勝美	ガバナー補佐室長	吉田 清治
	会長エレクト	関野 政人	S A A	原田 功
	クラブ幹事	対馬 健一	会 計	宮井 清隆
	実行委員長	清水 陞		

【総務委員会】

委員長...河部 勲
副委員長...山本 讓二
委 員...齋藤 清蔵 / 佐藤 潔 / 松田 宏幸
田中 公一 / 高田 潔 / 渡邊 裕久

【登録委員会】

委員長...田中 公一
副委員長...鈴木 康伸
委 員...平井 誠治 / 澤井 定七 / 深瀬 晏男
越野 俊興 / 大沼 哲郎 / 道 重幸
松村 孝二 / 川上 明弘 / 森 俊二
松川 一夫

【会場委員会】

委員長...高田 潔
副委員長...行徳 幸治
委 員...立山 一三 / 江端 稔 / 阿部 慶一
中出 敏彦 / 大嶋 孝広

【接待委員会】

委員長...渡邊 裕久
副委員長...遠藤 光一 / 西谷 英樹
委 員...西田 剛正 / 金子 精次 / 二ノ宮清信
佐藤 喜一 / 武井 哲 / 笠原 正昭
福島 重男 / 明沢 正樹 / 坂井 智
森 幹夫 / 佐藤 寛明 / 角 隆巨
西谷 恭治 / 平間 達也 / 串橋 伸幸

【救 護】 渡部 英次